

東広島にNGOカレッジ

来年春に開設

広島県の藤田雄山知事は十八日、県庁で岡山市に本部を持つ国際医療ボランティア団体、アジア医師連絡協議会（AMDA）の菅波茂代表と会談し、来年四月を目標に、東広島市内に初の「非政府組織（NGO）カレッジ」（仮称）を開設することに同意した。



NGOカレッジ開設などに合意した菅波代表（左）と藤田知事（18日午後、広島県庁）

AMDAと広島県合意

国際貢献担い手育成

われわれの理念と同じ。連携して国際貢献にあたりたい」と要請。AMDAがNGO活動の担い手の養成や、国連への提言の研究などをとする国際大学の設立を計画していることを説明し、①広島県内へのNGOカレッジの開設②中南米へのネットワークづくりなどについて協力を求めた。

国際平和祈念がんセンター構想などを推進している藤田知事は「互いに協力し、より良い国際貢献の態勢をつくりたい」と表明。東広島市鏡山三丁目国際協力事業団（JICA）と共同で建設している広島国際協力センター（仮称）にNGOカレッジを開設、AMDAのネットワーク拡大のため中南米の広島県人会に協力を求める考えを示した。

NGOカレッジは来年四月、国際センターの施設を利用して同時開設を目指す。世界各地で活動実績を持つAMDAのメンバーを講師に、全国から募った国際ボランティア希望者への実践的な人材教育を実施する。募集人数や教育期間などは今後、事務レベルで詰める。

AMDAは一九八四年に設立。フィリピン、韓国、シンガポール、インドなど海外十八カ所に支部を置き、国内千人、海外二百人の会員が、モザンビークの難民支援など十七プロジェクトを展開している。今年二月、広島県と友好提携している中国・四川省の豪雪被害にAMDAが援助物資を送ったことをきっかけに連携話が浮上した。

会談で、菅波代表は「平和の創造を原点とする広島県の国際貢献の考え方は、